

カテゴリ	質問内容	回答
全般	登録企業とはどのようなものですか？	登録企業は、探査探査機材を所有し、株式会社Be-Do(ビードゥ) (KULOCO)の推進する微動探査事業を各地で実施する企業です。建材、建築業を中心に北海道から九州まで20社があります（業種は問いません）。地域によって数に限りがありますので、ご興味のある事業者様には株式会社Be-Do(ビードゥ)より個別にご相談させて頂いております。
	登録企業として参入することが可能か知りたい	
	微動探査の仕組み、システムはどのようなものですか？	微動探査については、 こちらのページ をご覧ください。全体的な商流や手続きのフローについては、株式会社Be-Do(ビードゥ)より個別にご案内させて頂きますので、お問い合わせください。
	地盤の調査だけ実施する場合、建物と地盤の調査を実施する場合の参考金額を知りたいです。	微動探査の費用につきましては、お近くの 当社登録企業 、又は株式会社Be-Do(ビードゥ)にお問い合わせください。
	既存住宅の微動探査（耐震改修前・後）を行う場合の平均的な調査費用を教えてください。	
地盤の微動探査	これまで更地状態で地盤の微動探査調査を行っていましたが、家屋の耐震性能実測の場合は必要ないのですか？	更地状態で行っていた調査は、地盤の揺れやすさや周期特性を知るためのものです。一方、家屋の微動探査は、家屋の耐震性能を知るためのものです。このため、地盤の微動探査を行った上で建てた住宅についても、家屋の耐震性能計測を実施することをお勧めいたします。
	地盤の微動探査で、地盤の土質などはわかるのでしょうか？	地盤の微動探査（微動アレイ探査）を実施すると、S波速度の違いからある程度の土質の想定はできますが、実際の土質を正確に知ることはできません。
	地盤の支持力などはわかるのでしょうか？SWSと併用することになるのでしょうか？	現状の地盤の微動探査は、地盤の揺れやすさや周期特性を知るための調査方法です。支持力については、現状SWS試験などと併用いただいております。なお、将来的に微動探査機材のみで支持力調査ができるように、比較検証を進めております。
	スクリーウエイト貫入試験の代替として使用することはできますでしょうか。	
	表面波探査法との違いを教えてください。	表面波探査法は、地盤に振動を与えて地盤の支持力などを計測する手法です。微動探査は、地盤に振動を与えずに調査し、地盤の揺れやすさや周期特性を知ることができる調査方法です。
	屋外で計測する場合、バケツのようなものをかぶせているのはなぜですか？	機材と地面の間に風が通ると、計測に影響を与えることがあることから、風よけとしてバケツを設置しているものとなります。

カテゴリ	質問内容	回答
	地盤改良工事をする、しない、工法の選定を地盤調査会社に任せてしまっておりますが、建築士としてどのように判断するのがいいのでしょうか。	現状、地盤の微動探査のみで改良工事の要不要、工法の選定はしておりません。その上での回答となりますが、地盤調査会社では告示等における支持力、沈下検討のフローをもとに、地形や周辺の変状、地域の地盤の特性などを踏まえて判定を行っています。これらの内容を理解することで、地盤会社に任せきりにしないように要所を理解しておくことが重要と考えます。下記コラムなどもご参照ください。 https://www.sakurajimusyo.com/guide/31998/ https://www.sakurajimusyo.com/guide/32035/
	ボーリング調査なくとも、地盤の種別を確定することはできますか？	はい、地盤の周期に基づいた地盤種別の区分は可能です。
	アスファルトの上からも調査が可能でしょうか？	はい、地盤の計測は、土間コンクリート、アスファルト舗装等の上でも調査が可能です。土の上などでも計測可能です。
調査方法	実測の際の必要人数は何名必要ですか？	家屋、地盤の計測とも、重さ2.5kgほどの機材を4つ使用して計測を行いますので、1名にて調査が可能です。
	測定を行うとき、調査員の方が家に立ち入りますか？	家屋の計測を行うときには、機材を計測方法ごとに所定の位置に正確に配置して計測する必要がありますので、調査を行う者が家に立ち入らせて頂く必要があります。
	調査に要する時間はどのくらいですか？	家屋の計測を行う際の時間は、一軒につき機材の設置から計測、データ回収などで概ね1時間ほどです。地盤の揺れやすさの観測も、一宅地につき概ね1時間ほどとなります。
	測定機械は重心測定で使った同じ機械を使わないで剛心測定をするのはなぜですか。	家屋の耐震性計測は周期の計測と重心・剛心の計測となり、同じ機材を用いて探査を実施いたします。
	学生時代にお寺の微動測定に立ち会ったことがあります。その際に人力で柱を押し共振させて振動を測りました。そのようなことが住宅でも可能でしょうか？あまり意味がないのでしょうか？	当初は、人工的に振動を与える形での計測にてテストを実施しておりますので、振動を与えた調査は可能です。ただし、機材の高性能化により、微細な振動を与えなくとも与えた場合と同様な計測結果が得られたことから、振動を与えない調査として実用化しております。
	探査する場所は二階の四隅ですか？家具などがある場合はどうしますか？	剛心計測は2階（3階建ての場合は3階）の四隅に機材を配置します。正確な計測には可能な限り家屋の四隅に配置することが望ましく、可能な範囲で家具などのご移動をお願いすることがあります。
	機材の設置によって床などに傷がつくことはありませんか？	床に配置する際は、床に傷がつかないように機材を直接床の上に置かず、木製の板の上に載せて調査を行います。細心の注意を払って計測をいたしますのでご安心ください。